

Ⅱ 調査結果の概況

結果の要旨

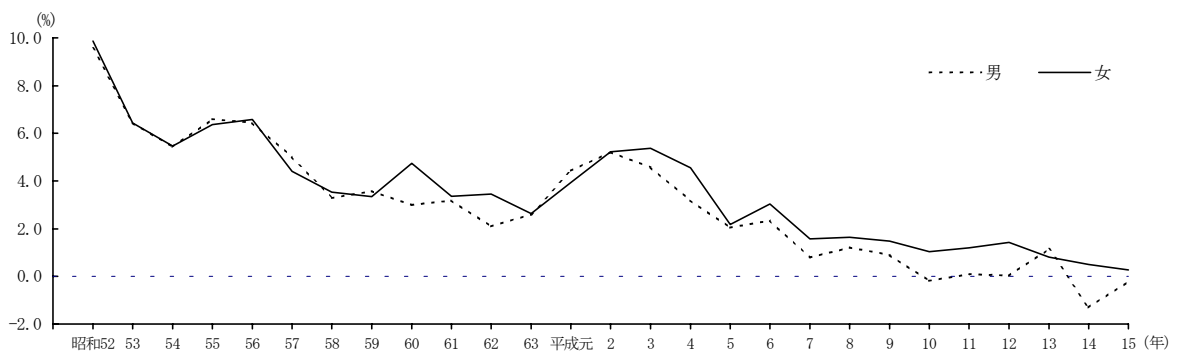
1 一般労働者の賃金

(1) 賃金、対前年比

賃金（6月分の所定内給与額。以下同じ。）は、男女計で302,100円、対前年増減率0.2%減と前年に引き続き減少となっている。

男女別にみると、男では335,500円、対前年増減率0.2%減、女では224,200円、同0.3%増となっている。（第1図、第1表）

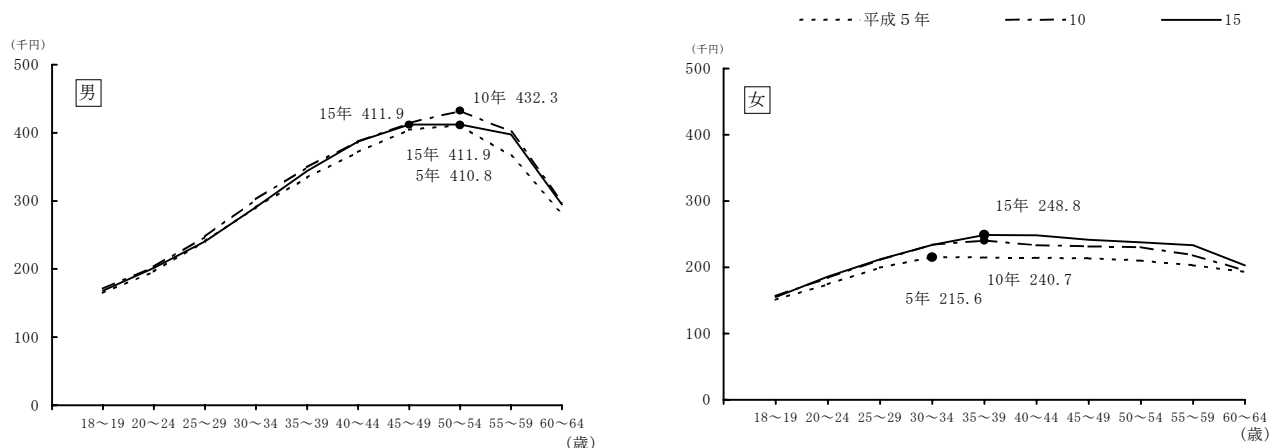
第1図 性別賃金の対前年増減率の推移（産業計、企業規模計、学歴計）



(2) 年齢階級別賃金

年齢階級別の賃金をみると、男では、賃金のピークは45～49歳及び50～54歳で411,900円となり、年齢階級別には一部の年齢階級を除き前年を下回っており、5年前と比較すると各年齢階級とも下回っている。女では、賃金のピークは35～39歳で248,800円となり、年齢階級別には35～39歳以下の階級で前年を下回り、それ以上で前年を上回っているが、5年前と比較すると20歳以上では概ね上回っている。（第2図、第2表）

第2図 性、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計、学歴計）

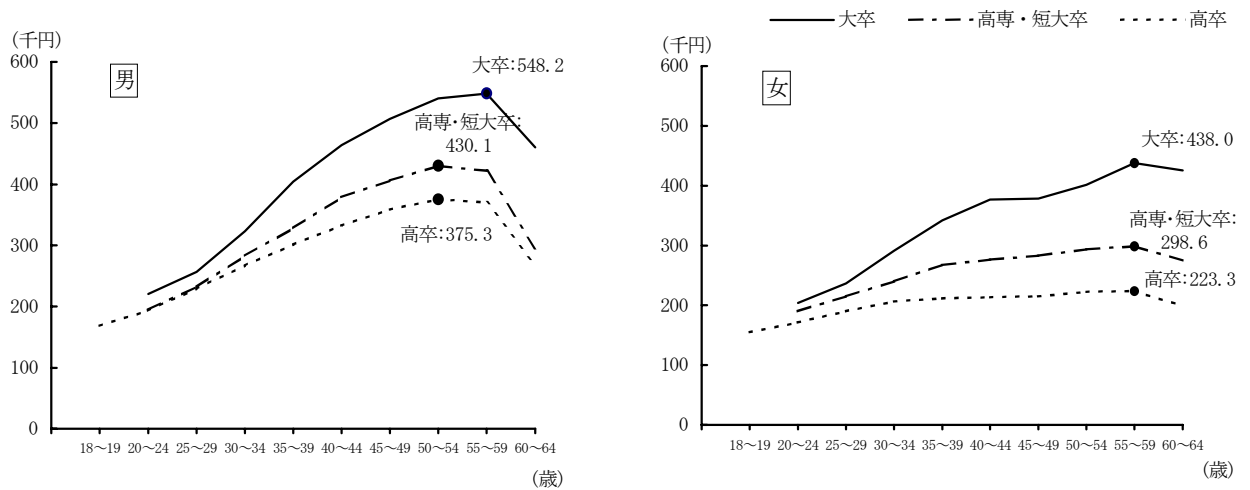


(注) 線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

(3) 学歴別賃金

男女各学歴の賃金を前年と比較すると、男の高専・短大卒、女の大卒、高専・短大卒を除き下回っている。これを年齢階級別にみると、賃金のピークは、男では大卒が55～59歳、高専・短大卒及び高卒が50～54歳、女では各学歴において55～59歳となっている。（第3図、第3表、第4表）

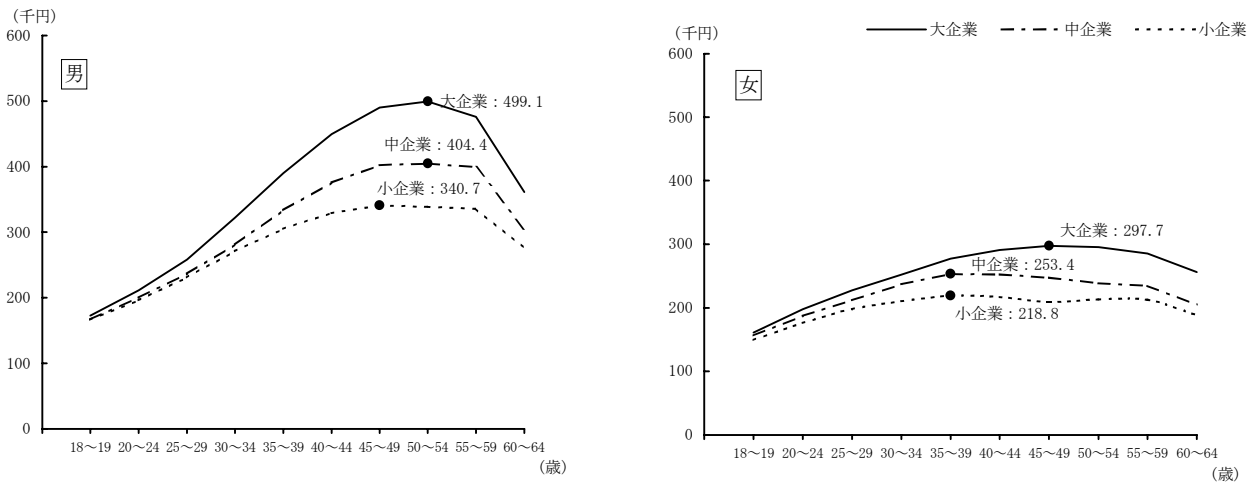
第3図 学歴、性、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計）



(4) 企業規模別賃金

男女各規模の賃金を前年と比較すると、男の中企業を除き上回っている。これを年齢階級別にみると、男の賃金がピークとなるのは、大企業及び中企業で50～54歳、小企業で45～49歳となっている。女では、各企業規模とも賃金のピークが20万円台となっており、年齢階級間格差が小さい。（第4図、第5表、第6表）

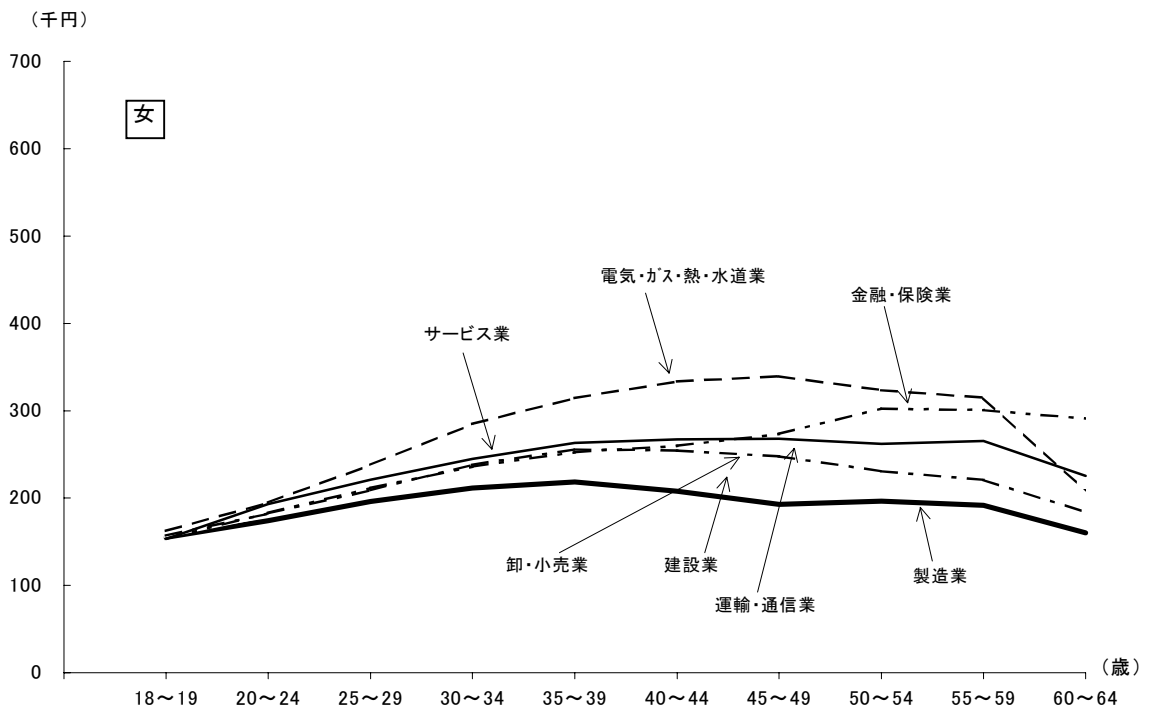
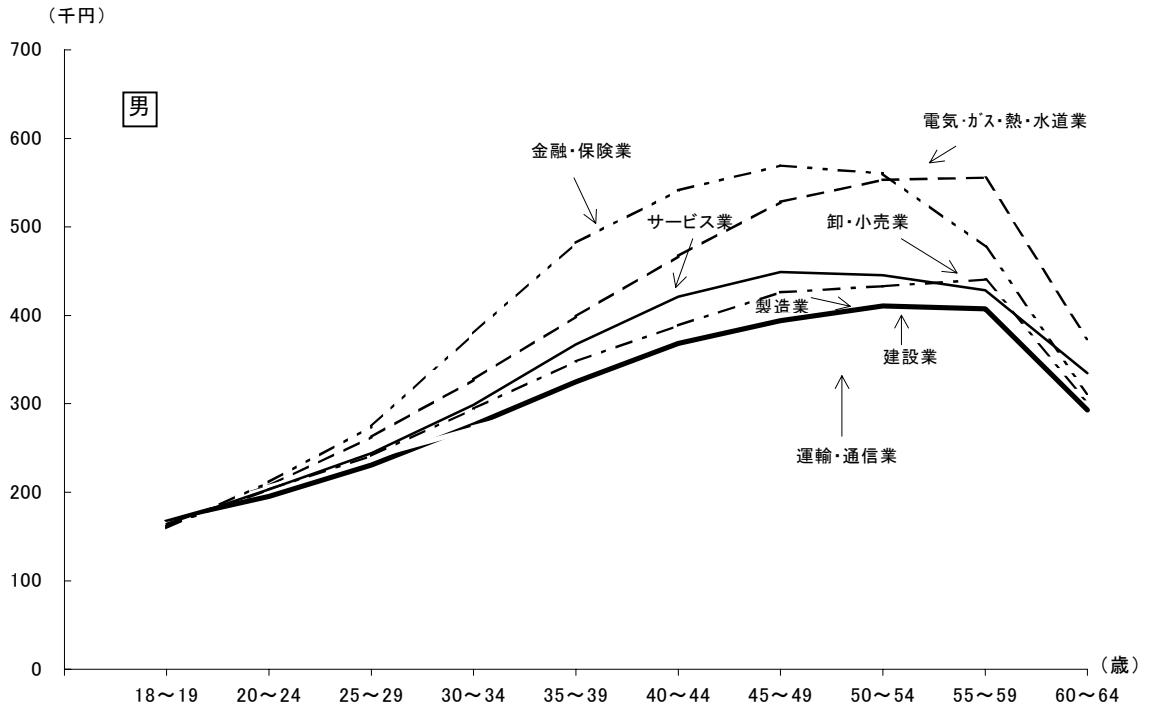
第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金（産業計、学歴計）



(5) 産業別賃金

男は金融・保険業が高く、運輸・通信業が低くなっており、女は電気・ガス・熱供給・水道業が高く、製造業が低くなっている。男と比較し、女の年齢階級、産業間格差が小さい（第5図、第7表）。

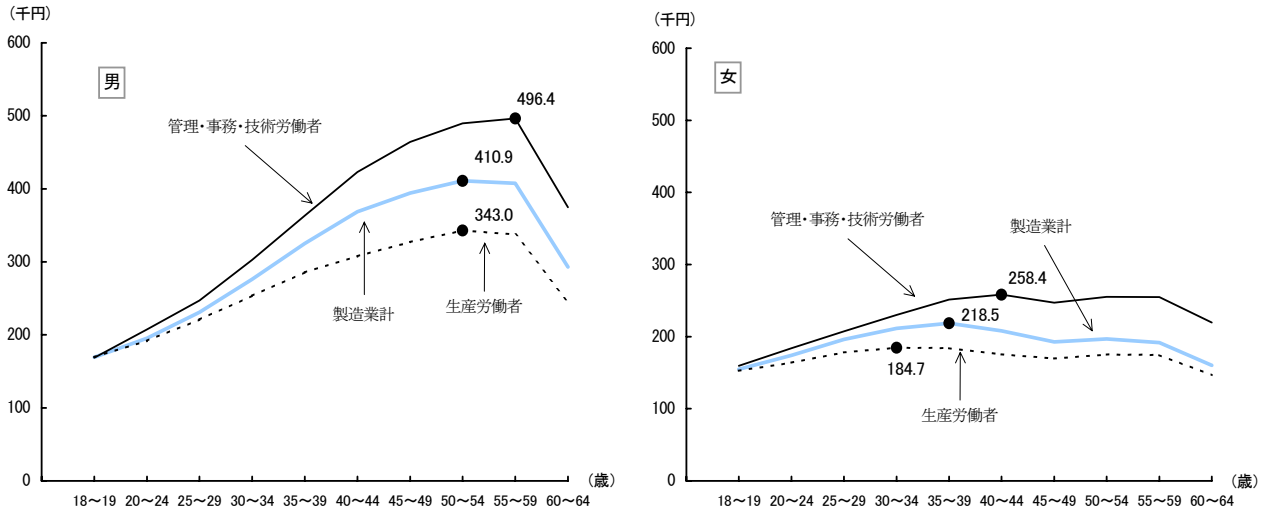
第5図 産業、性、年齢階級別賃金（企業規模計、学歴計）



(6) 労働者の種類別製造業の賃金

男では生産労働者で前年を下回り、管理・事務・技術労働者で前年を上回っているが、女では生産労働者で前年を上回り、管理・事務・技術労働者で前年を下回っている。これを年齢階級別にみると、賃金のピークは、男では生産労働者が50～54歳、管理・事務・技術労働者が55～59歳、女では、生産労働者が30～34歳、管理・事務・技術労働者が40～44歳となっている。（第6図、第8表）

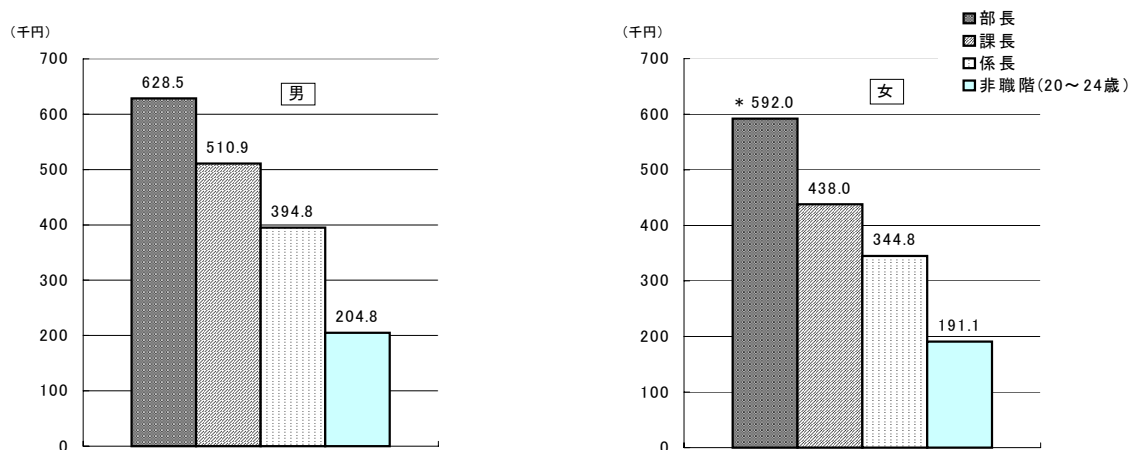
第6図 製造業の性、労働者の種類、年齢階級別賃金（企業規模計、学歴計）



(7) 職階別賃金

男では部長で628,500円（平均51.8歳）、対前年増減率1.1%減、課長で510,900円（同47.2歳）、同0.9%減、係長で394,800円（同42.6歳）、同0.1%減となっており、女では課長で438,000円（同47.1歳）、同1.0%増、係長で344,800円（同43.5歳）、同2.5%減となっている（第7図、第9表）。

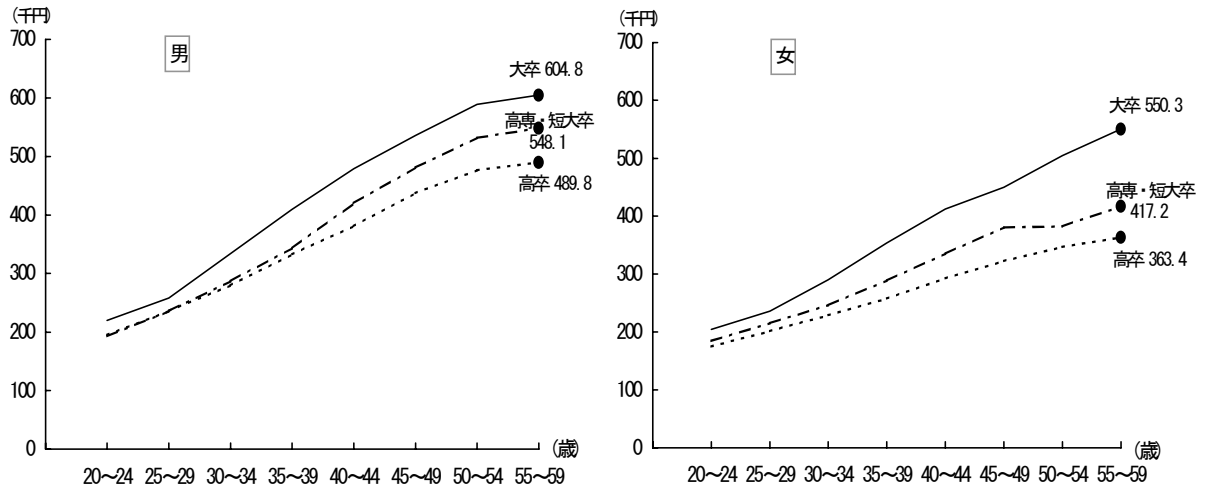
第7図 職階、性別賃金（企業規模100人以上計、学歴計）



(8) 標準労働者の賃金

賃金のピークは、男女とも各学歴で55～59歳となっている。年齢階級別の男女間の賃金格差をみると、概ね学歴が高くなるほど格差が小さくなっている。(第8図、第11表、第12表、第13表)

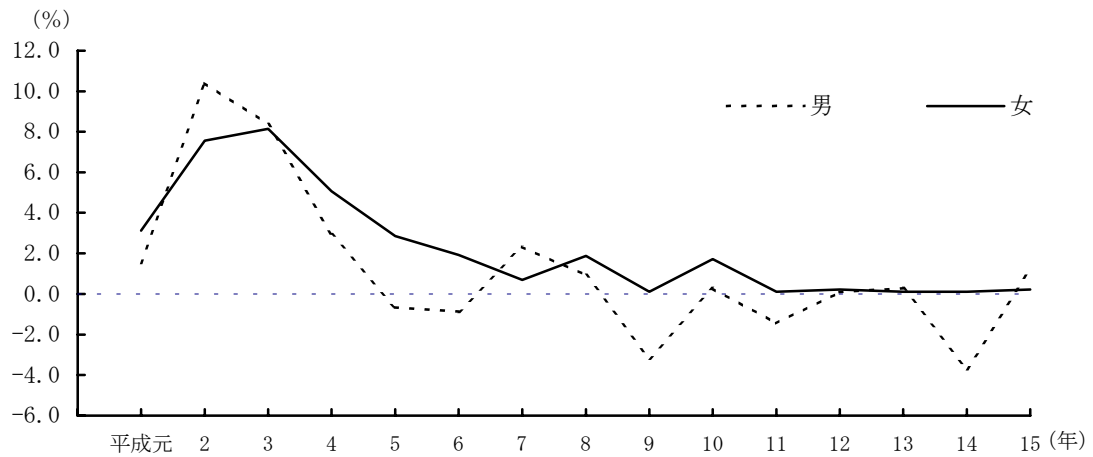
第8図 標準労働者の性、学歴、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計）



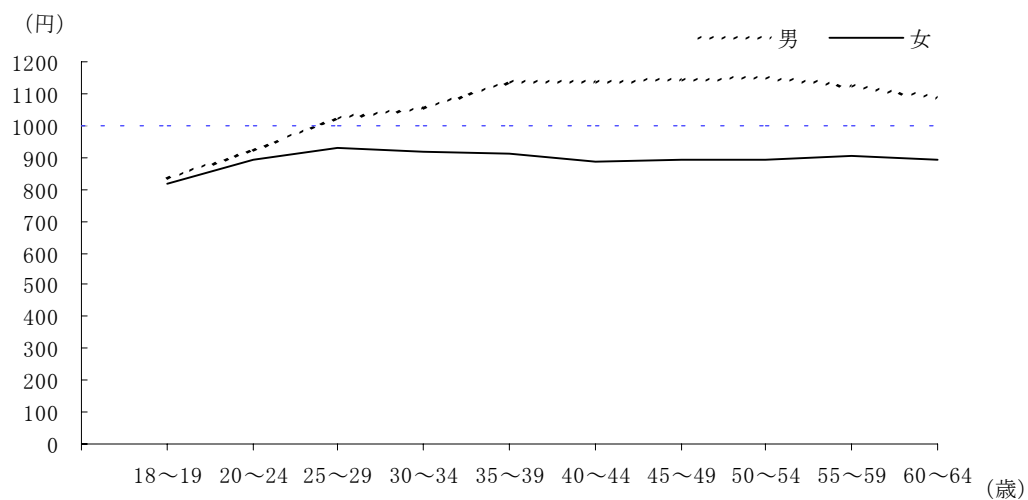
2 パートタイム労働者の賃金

パートタイム労働者の1時間当たりの賃金は、男では1,003円（対前年増減率1.2%増）で、25歳以上の各年齢階級で1,000円を超えている。女では893円（同0.2%増）で、20歳以上のどの年齢階級でも900円前後で、年齢による差はほとんどない。（第9図、第10図、第14表、第15表）

第9図 パートタイム労働者の性別1時間当たり賃金の対前年増減率の推移（産業計、企業規模計）



第10図 パートタイム労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金（産業計、企業規模計）



結果の概要

1 一般労働者の賃金

(1) 賃金、対前年比

平成15年の賃金は、男女計で302,100円（平均40.3歳、12.2年勤続）、対前年増減率0.2%減と前年に引き続き減少となっている。

これを男女別にみると、男では335,500円（平均41.2歳、13.5年勤続）、対前年増減率0.2%減、女では224,200円（同38.1歳、9.0年勤続）、同0.3%増となっている。（第1表、第1図）

第1表 性別賃金、対前年増減率の推移（産業計、企業規模計、学歴計）

年	男女計		男		女	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
昭和 51年	131.8	-	151.5	-	89.1	-
52	144.5	9.6	166.0	9.6	97.9	9.9
53	153.9	6.5	176.7	6.4	104.2	6.4
54	162.4	5.5	186.3	5.4	109.9	5.5
55	173.1	6.6	198.6	6.6	116.9	6.4
56	184.1	6.4	211.4	6.4	124.6	6.6
57	193.3	5.0	222.0	5.0	130.1	4.4
58	199.4	3.2	229.3	3.3	134.7	3.5
59	206.5	3.6	237.5	3.6	139.2	3.3
60	213.8	3.5	244.6	3.0	145.8	4.7
61	220.6	3.2	252.4	3.2	150.7	3.4
62	226.2	2.5	257.7	2.1	155.9	3.5
63	231.9	2.5	264.4	2.6	160.0	2.6
平成 元	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9
2	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2
3	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4
4	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6
5	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2
6	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0
7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3
平成 15年						
平均年齢(歳)	40.3		41.2		38.1	
勤続年数(年)	12.2		13.5		9.0	

(注) 10人以上の常用労働者を雇用する民営事業所に関する集計は、昭和51年以降行っている。

(2) 年齢階級別にみた賃金

年齢階級の賃金をみると、男では、賃金のピークは45～49歳（平均18.9年勤続）及び50～54歳（同21.8年勤続）で411,900円となり、年齢階級別には20～24歳、45～49歳を除き前年を下回っている。また、5年前と比較すると、各年齢階級とも下回っている。

女では、賃金のピークは35～39歳で248,800円（平均9.8年勤続）となり、年齢階級別には35～39歳以下の階級で前年を下回り、それ以上で前年を上回っている。また、5年前と比較すると、20歳以上では概ね上回っている。（第2表、第2図）

第2表 性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、企業規模計、学歴計）

年齢階級 (歳)	男						女					
	賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)		賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)	
	平成5年	10	14	15	平成14年	15	平成5年	10	14	15	平成14年	15
計	319.9	336.4	336.2	335.5	-1.3	-0.2	197.0	214.9	223.6	224.2	0.5	0.3
18～19	165.0	171.1	168.3	168.2	-1.8	-0.1	151.2	156.7	158.2	154.9	0.8	-2.1
20～24	196.6	203.4	199.7	201.6	-1.2	1.0	174.5	184.2	187.1	186.0	0.8	-0.6
25～29	240.9	247.7	241.0	240.7	-1.8	-0.1	199.6	211.3	212.9	212.2	0.9	-0.3
30～34	290.8	302.5	292.6	291.0	-1.7	-0.5	215.6	234.2	234.7	234.1	-0.8	-0.3
35～39	334.1	349.8	347.0	344.0	-1.1	-0.9	214.7	240.7	249.3	248.8	-0.2	-0.2
40～44	371.6	387.2	387.3	386.9	-0.6	-0.1	213.9	233.5	246.6	248.1	0.9	0.6
45～49	404.4	413.9	411.1	411.9	-0.7	0.2	213.8	231.6	241.1	241.7	-0.5	0.2
50～54	410.8	432.3	418.9	411.9	-2.0	-1.7	210.2	230.5	237.4	237.9	0.0	0.2
55～59	366.2	401.3	398.5	397.4	-1.3	-0.3	203.1	218.8	231.3	233.4	1.6	0.9
60～64	281.6	299.0	296.5	294.6	-3.2	-0.6	193.2	194.8	198.3	203.3	-2.6	2.5
平均年齢(歳)	39.9	40.4	41.1	41.2			36.0	37.2	37.9	38.1		
勤続年数(年)	12.6	13.1	13.5	13.5			7.3	8.2	8.8	9.0		

(注) 年齢階級区分の計の数値には、上掲の年齢階級のほか、18歳未満及び65歳以上の者を含む。以下同じ。

(3) 学歴別にみた賃金

学歴別の賃金をみると、男では、大卒が399,800円（平均39.5歳、12.3年勤続）、高専・短大卒が305,800円（同36.4歳、10.6年勤続）、高卒が305,100円（同41.6歳、14.1年勤続）、中卒が290,100円（同50.9歳、18.6年勤続）となっている。

女では、大卒が277,600円（平均32.2歳、6.1年勤続）、高専・短大卒が238,100円（同34.0歳、7.6年勤続）、高卒が205,200円（同40.7歳、10.0年勤続）、中卒が180,300円（同53.1歳、14.1年勤続）となっている。

これを前年と比較すると、大卒では、男は下回り、女は上回っている。また、男女とも高専・短大卒では概ね同水準となり、高卒及び中卒で下回っている。

年齢階級別にみると、賃金のピークは、男では大卒及び中卒が55～59歳、高専・短大卒及び高卒が50～54歳、女では中卒を除き各学歴において55～59歳となっている。（第3表、第3図）

学歴別に年齢階級間の賃金格差（20～24歳の賃金＝100）をみると、男では大卒は55～59歳で249、高専・短大卒及び高卒は50～54歳でそれぞれ221、194となっている。女では大卒は55歳以上の年齢階級で200を超えているが、それ以外の学歴では年齢階級間の格差が小さい。（第4表）

第3表 学歴、性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、企業規模計）

性、年齢階級 (歳)		大卒			高専・短大卒			高卒			中卒		
		賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)
		平成14年	15		平成14年	15		平成14年	15		平成14年	15	
男	計	403.1	399.8	-0.8	305.7	305.8	0.0	305.6	305.1	-0.2	290.9	290.1	-0.3
	18~19	-	-	-	-	-	-	168.5	168.7	0.1	165.9	161.7	-2.5
	20~24	216.0	220.5	2.1	194.7	194.8	0.1	193.3	193.5	0.1	204.6	204.1	-0.2
	25~29	255.3	256.8	0.6	234.9	232.2	-1.1	230.2	229.2	-0.4	235.5	228.9	-2.8
	30~34	327.3	323.1	-1.3	281.0	283.1	0.7	269.0	267.2	-0.7	256.8	255.7	-0.4
	35~39	403.9	404.2	0.1	337.0	328.5	-2.5	305.7	301.6	-1.3	279.3	274.7	-1.6
	40~44	463.8	463.8	0.0	377.3	378.8	0.4	332.4	332.6	0.1	290.4	285.4	-1.7
	45~49	507.5	507.1	-0.1	411.2	406.2	-1.2	364.8	358.6	-1.7	307.8	306.0	-0.6
	50~54	556.8	540.5	-2.9	439.8	430.1	-2.2	378.5	375.3	-0.8	323.1	317.4	-1.8
	55~59	562.8	548.2	-2.6	426.8	422.1	-1.1	371.6	370.4	-0.3	321.6	322.4	0.2
	60~64	474.1	460.6	-2.8	328.0	295.8	-9.8	267.5	269.0	0.6	239.3	242.2	1.2
平均年齢(歳)	39.5	39.5		36.0	36.4		41.3	41.6		50.5	50.9		
勤続年数(年)	12.4	12.3		10.5	10.6		13.9	14.1		18.4	18.6		
女	計	276.0	277.6	0.6	238.0	238.1	0.0	205.6	205.2	-0.2	181.4	180.3	-0.6
	18~19	-	-	-	-	-	-	158.4	155.1	-2.1	150.6	149.9	-0.5
	20~24	206.6	204.3	-1.1	191.4	190.3	-0.6	172.6	171.5	-0.6	157.2	157.5	0.2
	25~29	234.7	236.8	0.9	216.9	215.0	-0.9	193.1	190.1	-1.6	160.7	162.1	0.9
	30~34	286.9	291.4	1.6	244.1	240.2	-1.6	206.6	206.4	-0.1	173.4	169.9	-2.0
	35~39	346.5	342.6	-1.1	267.4	267.7	0.1	213.3	211.8	-0.7	171.4	183.1	6.8
	40~44	375.1	377.1	0.5	272.4	276.3	1.4	215.1	213.4	-0.8	181.3	175.1	-3.4
	45~49	364.8	378.7	3.8	286.4	282.8	-1.3	218.7	215.0	-1.7	184.5	181.8	-1.5
	50~54	411.5	401.3	-2.5	301.4	293.8	-2.5	222.2	222.3	0.0	190.3	190.8	0.3
	55~59	451.5	438.0	-3.0	306.1	298.6	-2.5	222.5	223.3	0.4	189.7	188.2	-0.8
	60~64	476.2	425.4	-10.7	281.4	275.2	-2.2	193.1	199.4	3.3	162.4	162.1	-0.2
平均年齢(歳)	32.0	32.2		33.4	34.0		40.3	40.7		52.9	53.1		
勤続年数(年)	6.1	6.1		7.4	7.6		9.8	10.0		13.7	14.1		

第4表 学歴、性別年齢階級間賃金格差（産業計、企業規模計）

(20~24歳=100)

性、年齢階級 (歳)		大卒				高専・短大卒				高卒			
		平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15
男	計	181	185	187	181	150	152	157	157	157	158	158	158
	18~19	-	-	-	-	-	-	-	-	85	86	87	87
	20~24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25~29	119	120	118	116	124	122	121	119	121	120	119	118
	30~34	152	155	152	147	151	151	144	145	141	140	139	138
	35~39	181	187	187	183	177	172	173	169	161	157	158	156
	40~44	220	215	215	210	207	195	194	194	180	174	172	172
	45~49	251	245	235	230	232	218	211	209	200	191	189	185
	50~54	281	272	258	245	238	231	226	221	208	205	196	194
	55~59	273	274	261	249	225	223	219	217	187	195	192	191
	60~64	214	206	219	209	163	172	168	152	142	143	138	139
女	計	129	134	134	136	117	121	124	125	114	117	119	120
	18~19	-	-	-	-	-	-	-	-	90	90	92	90
	20~24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25~29	114	117	114	116	116	115	113	113	111	112	112	111
	30~34	138	146	139	143	130	131	128	126	117	119	120	120
	35~39	157	168	168	168	138	141	140	141	120	123	124	123
	40~44	175	177	182	185	148	146	142	145	123	122	125	124
	45~49	185	198	177	185	154	154	150	149	128	126	127	125
	50~54	210	201	199	196	160	160	157	154	131	129	129	130
	55~59	215	228	219	214	175	166	160	157	128	126	129	130
	60~64	254	235	230	208	168	168	147	145	123	115	112	116

(4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別の賃金をみると、男では、大企業で394,900円（平均40.8歳、17.0年勤続）、対前年増減率0.9%増、中企業で326,200円（同40.5歳、13.1年勤続）、同0.8%減、小企業で292,900円（同42.2歳、11.0年勤続）、同0.0%増となっており、大企業では前年を上回り、中企業では前年を下回っている。

女では、大企業で252,600円（平均36.0歳、10.3年勤続）、対前年増減率0.4%増、中企業で225,700円（同37.6歳、8.5年勤続）、同0.3%増、小企業で203,600円（同40.2歳、8.6年勤続）、同0.5%増となっており、各企業規模とも前年を上回っている。

これを年齢階級別にみると、男の賃金がピークとなるのは、大企業及び中企業が50～54歳で、それぞれ499,100円、404,400円、小企業が45～49歳で340,700円となっている。女では、賃金のピークは各企業規模とも20万円台となっており、年齢階級間格差は小さい。（第5表、第4図）

企業規模間の賃金格差（大企業の賃金＝100）をみると、男では中企業で83、小企業で74、女では中企業で89、小企業で81となっている（第6表）。

第5表 企業規模、性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、学歴計）

性、年齢階級 (歳)	大 企 業			中 企 業			小 企 業			
	賃 金 (千円)		対前年 増減率(%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率(%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率(%)	
	平成14年	15		平成14年	15		平成14年	15		
男	計	391.2	394.9	0.9	328.8	326.2	-0.8	292.8	292.9	0.0
	18～19	172.6	173.1	0.3	167.6	167.2	-0.2	166.6	166.7	0.1
	20～24	209.0	211.4	1.1	197.2	200.4	1.6	195.6	196.1	0.3
	25～29	256.1	258.3	0.9	235.6	236.6	0.4	232.8	231.0	-0.8
	30～34	321.7	322.2	0.2	282.5	281.2	-0.5	272.1	271.3	-0.3
	35～39	389.9	390.4	0.1	336.2	333.6	-0.8	308.1	305.1	-1.0
	40～44	448.0	449.3	0.3	377.4	375.7	-0.5	330.9	329.3	-0.5
	45～49	484.4	490.3	1.2	405.3	402.3	-0.7	341.0	340.7	-0.1
	50～54	507.0	499.1	-1.6	414.5	404.4	-2.4	338.7	338.4	-0.1
	55～59	479.8	475.9	-0.8	398.6	399.1	0.1	334.7	335.4	0.2
	60～64	359.5	361.4	0.5	313.4	304.5	-2.8	272.3	275.5	1.2
	平均年齢(歳)	40.5	40.8		40.6	40.5		42.1	42.2	
勤続年数(年)	16.7	17.0		13.1	13.1		10.9	11.0		
女	計	251.5	252.6	0.4	225.1	225.7	0.3	202.6	203.6	0.5
	18～19	160.2	160.8	0.4	159.2	156.7	-1.6	155.8	149.7	-3.9
	20～24	197.7	197.5	-0.1	188.4	187.2	-0.6	176.6	176.0	-0.3
	25～29	227.0	227.6	0.3	214.1	212.0	-1.0	197.1	198.1	0.5
	30～34	253.2	252.0	-0.5	236.6	236.8	0.1	211.5	210.5	-0.5
	35～39	275.2	277.6	0.9	255.7	253.4	-0.9	218.2	218.8	0.3
	40～44	294.7	290.7	-1.4	249.5	252.4	1.2	214.7	217.0	1.1
	45～49	298.8	297.7	-0.4	245.5	247.4	0.8	208.9	209.0	0.0
	50～54	298.5	295.5	-1.0	238.3	238.6	0.1	210.7	213.2	1.2
	55～59	289.4	285.5	-1.3	232.8	234.7	0.8	209.7	212.8	1.5
	60～64	241.9	256.5	6.0	194.5	204.8	5.3	190.1	188.7	-0.7
	平均年齢(歳)	35.6	36.0		37.2	37.6		40.2	40.2	
勤続年数(年)	10.0	10.3		8.4	8.5		8.5	8.6		

(注) 常用労働者1,000人以上を大企業、100～999人を中企業、10～99人を小企業としている。以下同じ。

第6表 性、年齢階級別企業規模間格差（産業計、学歴計）

（大企業=100）

年齢階級 (歳)	男								女							
	中 企 業				小 企 業				中 企 業				小 企 業			
	平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15
計	85	84	84	83	80	77	75	74	87	90	90	89	81	83	81	81
18～19	99	98	97	97	100	99	97	96	98	98	99	97	93	94	97	93
20～24	98	96	94	95	102	97	94	93	96	97	95	95	92	92	89	89
25～29	96	93	92	92	99	95	91	89	93	94	94	93	87	89	87	87
30～34	91	89	88	87	91	89	85	84	91	95	93	94	81	84	84	84
35～39	88	87	86	85	82	80	79	78	81	90	93	91	72	79	79	79
40～44	85	85	84	84	77	76	74	73	77	81	85	87	68	71	73	75
45～49	84	82	84	82	73	71	70	69	73	81	82	83	66	71	70	70
50～54	82	81	82	81	68	68	67	68	73	78	80	81	66	71	71	72
55～59	83	82	83	84	72	71	70	70	70	80	80	82	64	75	72	75
60～64	87	84	87	84	84	79	76	76	68	87	80	80	61	82	79	74

(5) 産業別にみた賃金

産業別の賃金をみると、男は金融・保険業（459,800円）が高く、鉱業（297,900円）、運輸・通信業（298,800円）が低くなっている。

女は電気・ガス・熱供給・水道業（284,800円）が高く、製造業（195,800円）が低くなっているが、男と比較すると、産業間格差は小さい。

これを年齢階級別にみると、男の賃金がピークとなるのは、電気・ガス・熱供給・水道業及び卸売・小売業、飲食店が55～59歳、建設業、製造業等が50～54歳、サービス業等が45～49歳となっている。

女の賃金がピークとなるのは、金融・保険業等が50～54歳、サービス業等が45～49歳、製造業、卸売・小売業、飲食店等が35～39歳となっているが、各産業とも年齢階級間格差は小さい。（第7表、第5図）

第7表 産業、性、年齢階級別賃金（企業規模計、学歴計）

（単位：千円）

性、年齢階級 (歳)		産業計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス ・熱供給・ 水道業	運輸・ 通信業	卸売・ 小売業、 飲食店	金融・ 保険業	不動産業	サービス業
男	計	335.5	297.9	331.5	327.8	414.1	298.8	339.1	459.8	387.0	347.9
	18～19	168.2	162.9	172.9	169.4	171.0	171.3	161.5	159.3	165.8	164.3
	20～24	201.6	197.1	207.3	195.4	207.2	205.3	203.3	211.8	231.3	203.6
	25～29	240.7	234.7	247.8	231.0	262.6	239.1	241.3	274.7	271.8	244.0
	30～34	291.0	265.2	298.8	276.3	327.5	272.4	294.4	379.8	335.1	298.7
	35～39	344.0	297.6	333.9	325.2	398.7	304.7	347.9	482.3	411.8	367.3
	40～44	386.9	326.4	369.7	368.6	467.1	329.5	388.7	541.1	460.3	421.0
	45～49	411.9	330.6	392.5	394.2	528.3	341.5	426.2	569.2	489.1	448.9
	50～54	411.9	324.6	402.6	410.9	553.1	335.7	432.9	560.3	496.1	445.1
	55～59	397.4	321.7	391.8	407.5	555.7	316.9	440.6	477.7	459.7	428.4
	60～64	294.6	266.5	297.7	292.9	373.4	226.3	302.4	311.6	282.8	334.6
平均年齢(歳)	41.2	45.7	42.5	41.0	40.3	43.7	39.5	41.4	43.0	40.5	
勤続年数(年)	13.5	12.8	13.0	15.6	19.2	13.7	13.0	15.9	10.8	10.8	
女	計	224.2	199.2	212.2	195.8	284.8	225.2	220.8	243.4	244.7	239.0
	18～19	154.9	148.9	147.9	154.9	162.3	156.7	157.2	153.4	156.0	153.4
	20～24	186.0	172.6	178.7	174.0	194.8	181.6	182.4	183.0	196.5	193.0
	25～29	212.2	190.1	200.1	196.2	238.1	210.5	209.1	211.3	214.9	221.2
	30～34	234.1	215.5	217.4	211.3	284.7	234.2	237.9	236.1	245.2	244.9
	35～39	248.8	194.2	214.6	218.5	314.4	263.0	255.8	252.5	277.0	263.2
	40～44	248.1	202.6	222.6	208.0	333.6	250.4	254.3	260.0	307.8	267.2
	45～49	241.7	209.9	221.1	192.9	339.4	261.9	247.8	273.3	295.3	267.8
	50～54	237.9	195.4	236.8	196.7	323.7	248.0	230.7	302.4	290.6	262.1
	55～59	233.4	199.9	236.6	191.8	314.8	220.7	220.6	300.8	263.3	265.3
	60～64	203.3	202.8	198.7	160.3	207.5	184.3	183.9	291.1	188.5	225.2
平均年齢(歳)	38.1	44.0	38.9	40.7	37.3	36.2	36.3	37.9	36.4	37.6	
勤続年数(年)	9.0	10.6	9.6	11.3	13.1	9.0	8.4	10.0	7.5	7.7	

（注） 電気・ガス・熱供給・水道業及び運輸・通信業は民・公営計。ただし、産業計には公営分を含まない。以下同じ。

(6) 労働者の種類別にみた賃金

製造業について、労働者の種類別の賃金をみると、男では、生産労働者が279,100円（平均40.3歳、14.6年勤続）、対前年増減率0.7%減、管理・事務・技術労働者が388,600円（同42.0歳、16.9年勤続）、同0.2%増となっている。

女では、生産労働者が172,800円（平均43.6歳、11.6年勤続）、対前年増減率0.3%増、管理・事務・技術労働者が228,300円（同36.7歳、10.9年勤続）、同0.0%減となっている。

これを年齢階級別にみると、男の賃金がピークとなるのは、生産労働者が50～54歳で343,000円、管理・事務・技術労働者が55～59歳で496,400円となっている。

女の賃金がピークとなるのは、生産労働者が30～34歳で184,700円、管理・事務・技術労働者が40～44歳で258,400円となっている。（第8表、第6図）

第8表 製造業の性、労働者の種類、年齢階級別賃金及び対前年増減率（企業規模計、学歴計）

年齢階級 (歳)	男						女					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)	賃金(千円)		対前年 増減率(%)
	平成14年	15		平成14年	15		平成14年	15		平成14年	15	
計	281.1	279.1	-0.7	387.8	388.6	0.2	172.2	172.8	0.3	228.4	228.3	-0.0
18～19	169.9	169.5	-0.2	166.3	168.5	1.3	156.2	152.8	-2.2	161.4	159.5	-1.2
20～24	191.6	191.6	0.0	206.5	207.6	0.5	164.5	163.8	-0.4	183.3	184.0	0.4
25～29	224.1	220.9	-1.4	246.6	247.2	0.2	179.9	178.1	-1.0	206.9	207.3	0.2
30～34	256.5	253.5	-1.2	304.6	302.7	-0.6	185.9	184.7	-0.6	236.7	230.0	-2.8
35～39	290.9	285.5	-1.9	365.5	363.5	-0.5	182.4	183.9	0.8	253.2	251.6	-0.6
40～44	310.8	307.7	-1.0	425.4	423.0	-0.6	173.1	175.3	1.3	254.5	258.4	1.5
45～49	333.7	327.2	-1.9	463.2	464.4	0.3	170.9	169.6	-0.8	253.2	247.0	-2.4
50～54	343.0	343.0	0.0	496.9	489.6	-1.5	173.2	175.1	1.1	256.8	255.3	-0.6
55～59	338.5	337.4	-0.3	497.1	496.4	-0.1	170.6	174.3	2.2	261.0	255.0	-2.3
60～64	247.4	245.7	-0.7	373.5	374.6	0.3	150.2	146.7	-2.3	223.9	219.6	-1.9
平均年齢(歳)	40.2	40.3		41.7	42.0		43.5	43.6		36.0	36.7	
勤続年数(年)	14.6	14.6		16.6	16.9		11.1	11.6		10.4	10.9	

(7) 職階別にみた賃金

企業全体の常用労働者数が100人以上の企業について、職階別の賃金をみると、男では、部長が628,500円（平均51.8歳）、対前年増減率1.1%減、課長が510,900円（同47.2歳）、同0.9%減、係長が394,800円（同42.6歳）、同0.1%減となっている。

女では、課長が438,000円（平均47.1歳）、対前年増減率1.0%増、係長が344,800円（同43.5歳）、同2.5%減となっている。

また、5年前と平均年齢を比較すると、男は各職階とも大きな変化はないが、女は課長及び係長で0.5歳高くなっている。（第9表、第7図）

第9表 職階、性別賃金、賃金格差及び平均年齢（産業計、企業規模100人以上、学歴計）

職階、性	賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)		賃 金 格 差 (非職階者20~24歳=100)				平 均 年 齢 (歳)				
	平成5年	10	14	15	平成14年	15	平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15	
男	部 長	606.0	641.7	635.4	628.5	0.3	-1.1	311	315	314	307	51.2	51.9	52.0	51.8
	課 長	494.8	521.1	515.7	510.9	-1.4	-0.9	254	256	255	249	45.9	47.0	47.1	47.2
	係 長	373.2	401.4	395.0	394.8	-1.7	-0.1	192	197	195	193	41.1	42.3	42.5	42.6
	非職階者 20~24歳	194.7	203.8	202.2	204.8	-0.7	1.3	100	100	100	100				
女	部 長	* 504.5	* 533.4	* 546.7	* 592.0	* 284	* 284	* 284	* 310	* 51.5	* 53.2	* 48.4	* 50.9
	課 長	410.2	431.8	433.8	438.0	-2.5	1.0	231	230	225	229	47.1	46.6	46.5	47.1
	係 長	313.7	338.4	353.6	344.8	1.4	-2.5	176	180	184	180	43.1	43.0	43.9	43.5
	非職階者 20~24歳	177.9	187.7	192.5	191.1	1.0	-0.7	100	100	100	100				

(注) 非職階者とは、職階者（部長、課長、係長等）以外の者をいう。

(8) 賃金の分布

賃金階級別に労働者の分布をみると、男では、20万円未満が13.1%（前年13.3%）、20万円台が36.2%（同35.9%）、30万円台が25.2%（同25.2%）、40万円台が13.4%（同13.3%）、女では、20万円未満が46.4%（同47.1%）、20万円台が39.4%（同38.9%）となっている（第10表）。

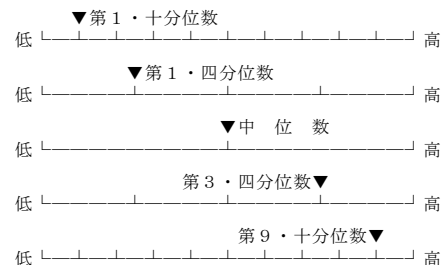
学歴別に賃金の散らばりをみると、男女とも大卒が最も大きくなっている（第11図）。

第10表 性、賃金階級、年齢階級別労働者数割合（産業計、企業規模計、学歴計）

賃金階級	男									
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 119.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
120.0～139.9	0.6	0.7	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.7	0.9	3.9
140.0～159.9	1.0	2.3	0.8	0.4	0.3	0.4	0.4	0.8	1.2	4.5
160.0～179.9	2.1	7.4	2.2	1.0	0.6	0.8	0.9	1.3	1.9	6.5
180.0～199.9	3.8	18.8	5.4	1.8	1.2	0.9	1.2	1.8	2.5	7.3
200.0～219.9	5.6	24.5	11.6	3.9	2.1	1.7	1.7	2.4	3.0	8.5
220.0～239.9	7.2	21.3	17.5	7.3	3.7	2.7	2.4	2.9	3.8	9.4
240.0～259.9	7.7	12.4	18.8	10.5	5.3	3.6	3.5	3.5	3.9	7.7
260.0～279.9	7.6	5.9	14.9	13.1	7.2	4.5	4.0	4.1	4.5	6.8
280.0～299.9	7.1	3.1	10.4	12.8	8.5	5.4	4.4	4.3	4.7	6.1
300.0～319.9	6.6	1.3	6.9	11.8	9.2	6.4	5.1	4.4	4.9	4.6
320.0～359.9	6.3	0.8	4.2	9.6	9.5	7.2	5.3	5.2	5.5	5.6
360.0～399.9	10.5	0.7	4.0	12.6	16.4	14.4	12.1	10.6	10.6	6.6
400.0～449.9	8.4	0.4	1.5	6.6	12.6	13.8	12.1	10.7	9.7	4.2
450.0～499.9	7.9	0.2	0.7	4.0	10.1	13.0	13.2	12.2	11.0	4.3
500.0～599.9	5.5	0.2	0.3	1.7	5.5	8.7	10.3	10.1	8.6	3.3
600.0～699.9	6.4	0.2	0.3	1.6	4.6	9.3	12.3	12.8	11.7	4.7
700.0～799.9	3.0	0.0	0.2	0.5	1.6	3.7	5.8	6.7	6.1	2.7
800.0～899.9	1.4	-	0.0	0.2	0.7	1.6	2.5	3.2	3.0	1.7
900.0～	0.6	-	0.0	0.1	0.3	0.6	1.0	1.3	1.3	0.7
900.0～	0.7	-	0.0	0.1	0.4	0.9	1.4	1.1	1.2	1.1
平 均 値 (千円)	335.5	201.6	240.7	291.0	344.0	386.9	411.9	411.9	397.4	294.6
第1・十分位数 (千円)	189.4	159.3	182.7	208.1	228.1	237.7	237.3	220.7	202.6	146.0
第1・四分位数 (千円)	232.3	176.2	205.6	239.5	270.3	294.7	303.5	294.7	273.9	185.9
中 位 数 (千円)	301.9	196.9	232.8	278.1	325.1	364.1	388.8	389.7	370.4	246.9
第3・四分位数 (千円)	402.5	220.2	266.3	326.1	393.2	449.1	488.8	500.7	489.0	345.4
第9・十分位数 (千円)	522.5	247.6	305.1	385.8	474.8	552.6	608.2	626.9	621.1	509.4
十分位分散係数	0.55	0.22	0.26	0.32	0.38	0.43	0.48	0.52	0.56	0.74
四分位分散係数	0.28	0.11	0.13	0.16	0.19	0.21	0.24	0.26	0.29	0.32

(注) 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、全労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べて、全労働者の所定の何等分目かに位置する者の値である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 十分分し、低い方から最初の節の者の賃金
- 第1・四分位数 …… 四分分し、低い方から最初の節の者の賃金
- 中 位 数 …… 二分分した節の者の賃金
- 第3・四分位数 …… 四分分し、高い方から最初の節の者の賃金
- 第9・十分位数 …… 十分分し、高い方から最初の節の者の賃金



2) 分散係数とは、次の算式により計算された数値をいう。その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

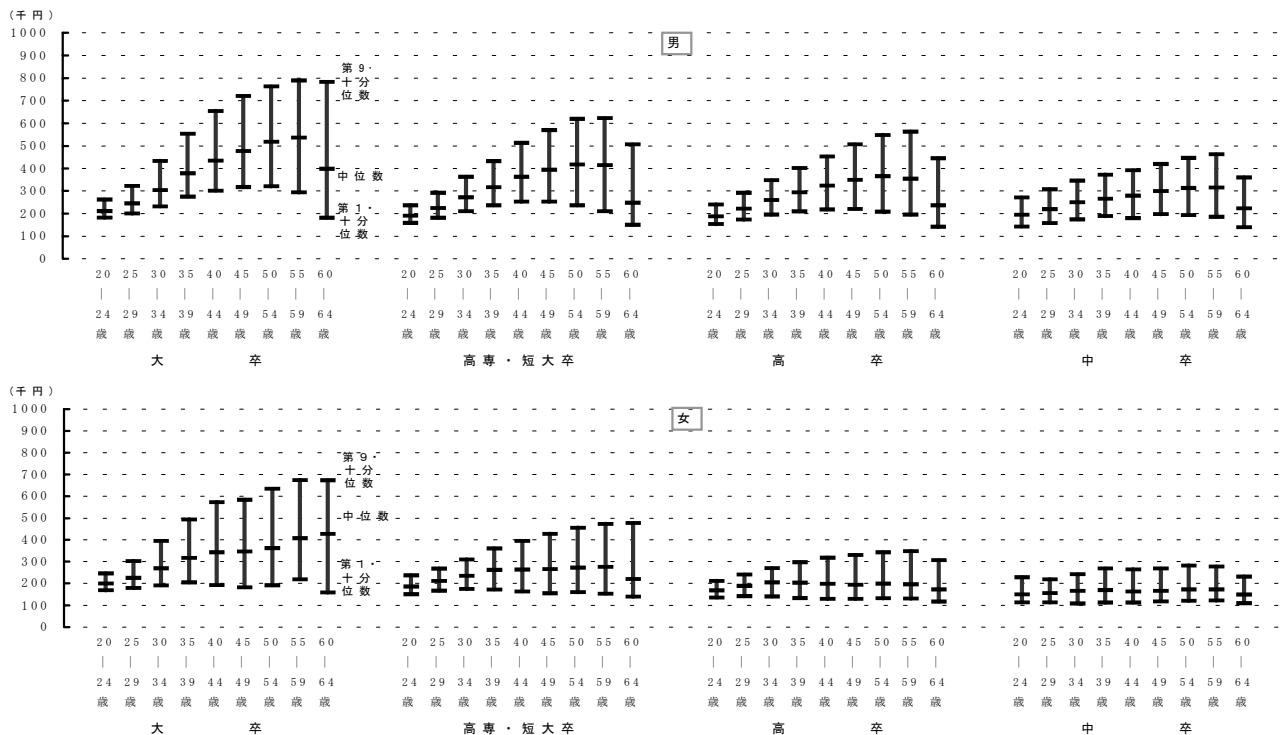
○ 十分位分散係数 =
$$\frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

○ 四分位分散係数 =
$$\frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

第10表 性、賃金階級、年齢階級別労働者数割合（産業計、企業規模計、学歴計）

賃金階級	女									
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9 (千円)	0.9	0.3	0.4	0.6	1.0	1.2	1.3	1.1	1.5	2.8
100.0～119.9	2.5	1.3	0.9	1.6	2.3	2.7	3.5	3.5	4.2	10.0
120.0～139.9	6.3	5.6	3.1	3.3	5.0	7.0	8.1	9.1	9.0	14.7
140.0～159.9	10.1	15.0	6.7	5.9	6.8	9.2	11.3	10.9	12.0	15.0
160.0～179.9	13.3	25.3	12.8	8.5	8.5	9.9	10.8	11.3	13.0	14.8
180.0～199.9	13.3	22.4	18.6	11.0	9.2	8.7	9.4	9.8	10.4	9.2
200.0～219.9	12.3	15.0	19.8	14.3	8.9	8.4	8.0	8.9	8.4	7.4
220.0～239.9	9.7	7.6	13.9	14.2	10.0	8.2	7.1	7.6	7.0	4.8
240.0～259.9	7.7	3.6	10.2	12.7	9.3	7.4	7.0	5.7	5.6	4.8
260.0～279.9	5.8	2.4	6.2	9.0	8.3	6.5	5.3	5.8	4.5	2.5
280.0～299.9	3.9	0.8	2.9	5.5	7.6	5.4	4.4	4.7	3.7	1.6
300.0～319.9	3.1	0.4	1.6	5.1	5.2	4.8	4.1	3.8	3.3	1.8
320.0～359.9	4.1	0.3	1.6	4.3	8.5	7.6	6.2	5.7	5.3	2.3
360.0～399.9	2.4	0.1	0.6	1.9	3.9	5.3	4.4	3.7	3.4	1.7
400.0～449.9	1.8	0.0	0.3	0.9	2.3	3.6	4.0	3.2	3.2	2.0
450.0～499.9	1.0	-	0.1	0.5	1.3	1.6	2.1	2.0	1.7	1.1
500.0～599.9	0.9	0.0	0.1	0.3	0.9	1.4	1.8	2.0	2.1	1.8
600.0～699.9	0.3	-	0.0	0.1	0.4	0.6	0.5	0.6	0.8	1.1
700.0～799.9	0.2	-	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4
800.0～	0.2	-	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3
平均値 (千円)	224.2	186.0	212.2	234.1	248.8	248.1	241.7	237.9	233.4	203.3
第1・十分位数 (千円)	140.4	144.7	157.0	155.8	145.3	137.6	133.2	132.9	130.8	115.3
第1・四分位数 (千円)	168.0	162.5	181.2	189.5	182.9	170.4	161.3	160.6	157.1	137.0
中位数 (千円)	205.3	182.1	207.3	226.8	236.8	227.0	213.4	209.1	199.4	170.3
第3・四分位数 (千円)	256.6	206.0	238.0	265.7	294.8	301.8	293.5	284.5	276.7	225.3
第9・十分位数 (千円)	327.8	232.4	270.5	312.6	356.0	382.6	390.1	379.8	379.6	331.5
十分位分散係数	0.46	0.24	0.27	0.35	0.45	0.54	0.60	0.59	0.62	0.63
四分位分散係数	0.22	0.12	0.14	0.17	0.24	0.29	0.31	0.30	0.30	0.26

第11図 学歴、性、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数（産業計、企業規模計）



(9) 標準労働者の賃金

標準労働者について、年齢階級別の賃金を学歴別にみると、賃金がピークとなるのは、男女各学歴とも55～59歳で、男では大卒が604,800円、高専・短大卒が548,100円、高卒が489,800円、女では大卒が550,300円、高専・短大卒が417,200円、高卒が363,400円となっている（第11表、第8図）。

年齢階級間の賃金格差（20～24歳の賃金＝100）を学歴別にみると、賃金のピークとなる55～59歳で、男では大卒が275、高専・短大卒が285、高卒が251、女では大卒が269、高専・短大卒が226、高卒が208となっている（第12表）。

年齢階級別の男女間の賃金格差（男＝100）をみると、概ね学歴が高くなるほど格差が小さくなっている（第13表）。

第11表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、企業規模計）

性、年齢階級 (歳)	大 卒			高専・短大卒			高 卒			
	賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	
	平成14年	15		平成14年	15		平成14年	15		
男	計	395.1	391.2	-1.0	291.0	295.3	1.5	328.6	331.7	0.9
	20～24	216.4	220.1	1.7	193.6	192.6	-0.5	193.6	194.9	0.7
	25～29	258.0	258.0	0.0	236.0	236.2	0.1	236.6	236.1	-0.2
	30～34	336.5	334.2	-0.7	286.1	287.2	0.4	284.0	279.9	-1.4
	35～39	412.3	409.4	-0.7	351.4	343.6	-2.2	336.4	333.0	-1.0
	40～44	481.1	479.5	-0.3	406.1	420.2	3.5	383.8	380.9	-0.8
	45～49	538.5	536.2	-0.4	493.0	480.9	-2.5	440.0	437.4	-0.6
	50～54	599.0	589.3	-1.6	530.6	532.0	0.3	477.4	476.3	-0.2
	55～59	624.8	604.8	-3.2	506.4	548.1	8.2	499.4	489.8	-1.9
女	計	255.0	253.8	-0.5	223.5	225.2	0.8	219.0	220.3	0.6
	20～24	206.9	204.7	-1.1	186.6	184.7	-1.0	174.5	174.7	0.1
	25～29	235.5	235.8	0.1	216.8	215.3	-0.7	203.3	201.9	-0.7
	30～34	290.5	290.1	-0.1	249.9	246.3	-1.4	228.0	228.8	0.4
	35～39	350.7	353.6	0.8	298.4	289.1	-3.1	260.3	257.8	-1.0
	40～44	416.9	412.7	-1.0	332.2	335.1	0.9	304.2	293.0	-3.7
	45～49	459.0	450.1	-1.9	382.9	380.4	-0.7	333.2	322.6	-3.2
	50～54	527.6	504.5	-4.4	412.6	382.2	-7.4	355.2	347.0	-2.3
	55～59	556.0	550.3	-1.0	417.8	417.2	-0.1	384.3	363.4	-5.4

(注) 年齢階級区分の計の数値には、上掲の年齢階級のほか、20歳未満及び60歳以上の者を含む。

第12表 標準労働者の学歴、性別年齢階級間賃金格差（産業計、企業規模計）

(20～24歳=100)

性、年齢階級 (歳)	大 卒				高専・短大卒				高 卒				
	平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15	
男	計	174	180	183	178	133	142	150	153	163	167	170	170
	20～24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	120	122	119	117	127	125	122	123	124	120	122	121
	30～34	153	156	155	152	156	156	148	149	150	147	147	144
	35～39	188	191	191	186	192	185	182	178	183	174	174	171
	40～44	232	225	222	218	235	227	210	218	210	204	198	195
	45～49	268	264	249	244	273	256	255	250	251	230	227	224
	50～54	304	292	277	268	277	280	274	276	282	266	247	244
	55～59	315	303	289	275	276	287	262	285	267	265	258	251
女	計	116	121	123	124	108	115	120	122	110	117	126	126
	20～24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	114	117	114	115	118	118	116	117	117	115	117	116
	30～34	136	146	140	142	142	139	134	133	135	132	131	131
	35～39	167	176	170	173	162	162	160	157	156	152	149	148
	40～44	198	205	201	202	182	198	178	181	174	170	174	168
	45～49	222	220	222	220	193	211	205	206	204	189	191	185
	50～54	254	261	255	246	220	202	221	207	225	218	204	199
	55～59	275	272	269	269	219	233	224	226	207	223	220	208

第13表 標準労働者の学歴、年齢階級別男女間賃金格差（産業計、企業規模計）

(男=100)

年齢階級 (歳)	大 卒			高専・短大卒			高 卒		
	平成10年	14	15	平成10年	14	15	平成10年	14	15
20～24	95	96	93	95	96	96	90	90	90
25～29	91	91	91	90	92	91	86	86	86
30～34	89	86	87	84	87	86	80	80	82
35～39	87	85	86	83	85	84	78	77	77
40～44	87	87	86	83	82	80	75	79	77
45～49	79	85	84	78	78	79	74	76	74
50～54	85	88	86	68	78	72	74	74	73
55～59	85	89	91	77	83	76	75	77	74

2 パートタイム労働者の賃金

(1) 賃金、対前年比

パートタイム労働者について、1時間当たりの賃金をみると、男では1,003円（対前年増減率1.2%増）、女では893円（同0.2%増）となっている（第14表、第9図）。

これを年齢階級別にみると、男では、18～19歳は837円、20～24歳は922円、25歳以上は1,000円を超えている。女では、18～19歳は814円、20歳以上はどの年齢階級でも900円前後で年齢による差はほとんどない。（第15表、第10図）

なお、労働者構成を年齢階級別（年齢計＝100）にみると、男では29歳以下で全体の51.0%を占めるとともに、60歳以上で24.9%を占めている。女では40～59歳で全体の54.3%を占めている。（第16表）

第14表 パートタイム労働者の性別1時間当たり賃金及び
対前年増減率の推移（産業計、企業規模計）

年	男		女	
	1時間当たり賃金 (円)	対前年増減率 (%)	1時間当たり賃金 (円)	対前年増減率 (%)
平成 元年	855	1.5	662	3.1
2	944	10.4	712	7.6
3	1,023	8.4	770	8.1
4	1,053	2.9	809	5.1
5	1,046	-0.7	832	2.8
6	1,037	-0.9	848	1.9
7	1,061	2.3	854	0.7
8	1,071	0.9	870	1.9
9	1,037	-3.2	871	0.1
10	1,040	0.3	886	1.7
11	1,025	-1.4	887	0.1
12	1,026	0.1	889	0.2
13	1,029	0.3	890	0.1
14	991	-3.7	891	0.1
15	1,003	1.2	893	0.2

第15表 パートタイム労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金（産業計、企業規模計）

(単位：円)

年齢階級 (歳)	男		女	
	平成14年	15	平成14年	15
計	991	1,003	891	893
18～19	844	837	801	814
20～24	930	922	883	890
25～29	1,022	1,024	926	929
30～34	1,069	1,057	928	920
35～39	1,141	1,138	902	908
40～44	1,074	1,140	888	886
45～49	1,103	1,144	882	894
50～54	1,094	1,147	894	895
55～59	1,099	1,125	902	904
60～64	1,114	1,090	894	892
平均年齢(歳)	36.8	38.3	43.1	43.3

第16表 パートタイム労働者構成比（産業計、企業規模計）

（単位：％）

年齢階級 (歳)	年齢階級別構成比 (年齢計=100)				男女別構成比 (男女計=100)			
	男		女		平成14年		平成15年	
	平成14年	15	平成14年	15	男	女	男	女
計	100.0	100.0	100.0	100.0	20.1	79.9	20.3	79.7
～17	5.8	4.6	1.9	1.8	43.4	56.6	40.3	59.7
18～19	12.2	10.3	3.7	3.7	45.0	55.0	41.3	58.7
20～24	27.5	26.5	8.3	7.9	45.5	54.5	46.0	54.0
25～29	9.5	9.6	6.9	6.5	25.6	74.4	27.2	72.8
30～34	4.6	5.5	7.5	7.8	13.3	86.7	15.1	84.9
35～39	3.2	3.4	9.2	9.2	8.1	91.9	8.7	91.3
40～44	3.1	2.8	12.0	12.2	6.1	93.9	5.5	94.5
45～49	3.3	3.2	14.3	14.1	5.4	94.6	5.4	94.6
50～54	4.6	4.4	17.2	16.6	6.2	93.8	6.3	93.7
55～59	4.1	4.7	10.5	11.4	8.9	91.1	9.6	90.4
60～64	11.3	12.7	5.5	5.7	33.8	66.2	36.1	63.9
65～	10.9	12.2	3.0	2.9	48.1	51.9	51.3	48.7

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たりの賃金をみると、男では、大企業が963円（対前年増減率0.2%減）、中企業が1,024円（同0.7%増）、小企業が1,017円（同2.3%増）となっており、大企業より中企業及び小企業が高くなっている。

女では、大企業が913円（対前年増減率0.2%減）、中企業が901円（同0.6%減）、小企業が868円（同1.5%増）となっており、大企業は若干高くなっているが格差は小さい。（第17表）

第17表 パートタイム労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差（産業計）

性、企業規模		1時間当たり賃金(円)				対前年増減率(%)		賃金格差(大企業=100)			
		平成5年	10	14	15	平成14年	15	平成5年	10	14	15
男	大企業	997	977	965	963	-1.4	-0.2	100	100	100	100
	中企業	1,074	1,072	1,017	1,024	-3.6	0.7	108	110	105	106
	小企業	1,056	1,057	994	1,017	-5.2	2.3	106	108	103	106
女	大企業	874	904	915	913	-0.1	-0.2	100	100	100	100
	中企業	841	901	906	901	2.3	-0.6	96	100	99	99
	小企業	802	861	855	868	-1.5	1.5	92	95	93	95

(3) 産業別にみた賃金

パートタイム労働者全体の9割以上を占める製造業、卸売・小売業、飲食店、サービス業について、1時間当たりの賃金をみると、男では、製造業及びサービス業が1,000円を超えているのに対し、卸売・小売業、飲食店は898円となっており、各産業で前年を上回っている。

女では、サービス業が1,000円を超えているのに対し、製造業は831円、卸売・小売業、飲食店は860円となっており、卸売・小売業、飲食店を除き前年を下回っている。(第18表)

第18表 パートタイム労働者の産業、性別1時間当たり賃金及び対前年増減率(企業規模計)

産 業	男						女					
	1時間当たり賃金(円)				対前年増減率(%)		1時間当たり賃金(円)				対前年増減率(%)	
	平成5年	10	14	15	平成14年	15	平成5年	10	14	15	平成14年	15
製 造 業	1,047	1,104	1,040	1,047	-2.0	0.7	769	825	836	831	-1.4	-0.6
卸売・小売業, 飲食店	909	902	882	898	-0.8	1.8	824	846	845	860	-0.6	1.8
サ ー ビ ス 業	1,177	1,185	1,116	1,125	-3.0	0.8	932	1,016	1,011	1,002	2.2	-0.9

(4) 実労働日数、所定内実労働時間数、勤続年数

実労働日数(平成15年6月)をみると、男では17.2日、女では19.1日、1日当たりの所定内実労働時間数をみると、男では5.9時間、女では5.5時間、勤続年数をみると、男では、3.2年、女では5.1年となっている(第19表)。

第19表 パートタイム労働者の性別実労働日数、1日当たり所定内実労働時間数及び勤続年数の推移(産業計、企業規模計)

項 目	男				女			
	平成5年	10	14	15	平成5年	10	14	15
実労働日数(日)	17.7	17.0	17.0	17.2	19.9	19.4	19.1	19.1
1日当たり所定内実労働時間数(時間)	5.9	5.8	5.9	5.9	5.7	5.5	5.5	5.5
勤続年数(年)	2.9	3.0	3.1	3.2	4.6	4.8	5.0	5.1

3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

イ 平成15年の初任給を高卒以上の学歴別にみると、以下のとおりになっている。

男女計	大卒	198,100円	(対前年増減率 1.5%)
	高専・短大卒	165,300円	(" -0.4%)
	高卒	152,900円	(" -0.7%)
男	大卒	201,300円	(" 1.4%)
	高専・短大卒	169,800円	(" 0.2%)
	高卒	157,500円	(" 0.0%)
女	大卒	192,500円	(" 2.0%)
	高専・短大卒	163,500円	(" -0.5%)
	高卒	147,000円	(" -1.2%)

男女計では、大卒が前年を上回っており、高専・短大卒、高卒ともに前年を下回っている。

これを男女別にみると、大卒では、男女とも対前年増減率がこの10年間で最も高い伸びとなり、男は初めて20万円台になっている。高専・短大卒及び高卒では、男はおおむね前年と同水準であり、女は前年を下回っている(第20表、第21表、第12図)。

第20表 性、学歴別初任給額の推移(産業計、企業規模計)

(単位:千円)

性	大卒					高専・短大卒					高卒				
	平成11年	12	13	14	15	平成11年	12	13	14	15	平成11年	12	13	14	15
男女計	194.2 (0.8)	193.7 (-0.3)	195.1 (0.7)	195.1 (0.0)	198.1 (1.5)	164.9 (0.6)	165.9 (0.6)	165.9 (0.0)	166.0 (0.1)	165.3 (-0.4)	153.5 (0.6)	153.1 (-0.3)	154.0 (0.6)	154.0 (0.0)	152.9 (-0.7)
男	196.6	196.9	198.3	198.5	201.3	170.3	171.6	170.3	169.5	169.8	157.6	157.1	158.1	157.5	157.5
女	188.7	187.4	188.6	188.8	192.5	162.2	163.6	163.8	164.3	163.5	148.3	147.6	148.7	148.8	147.0

(注) 1 初任給額は、新規学卒採用者数による加重平均である(以下同じ)。

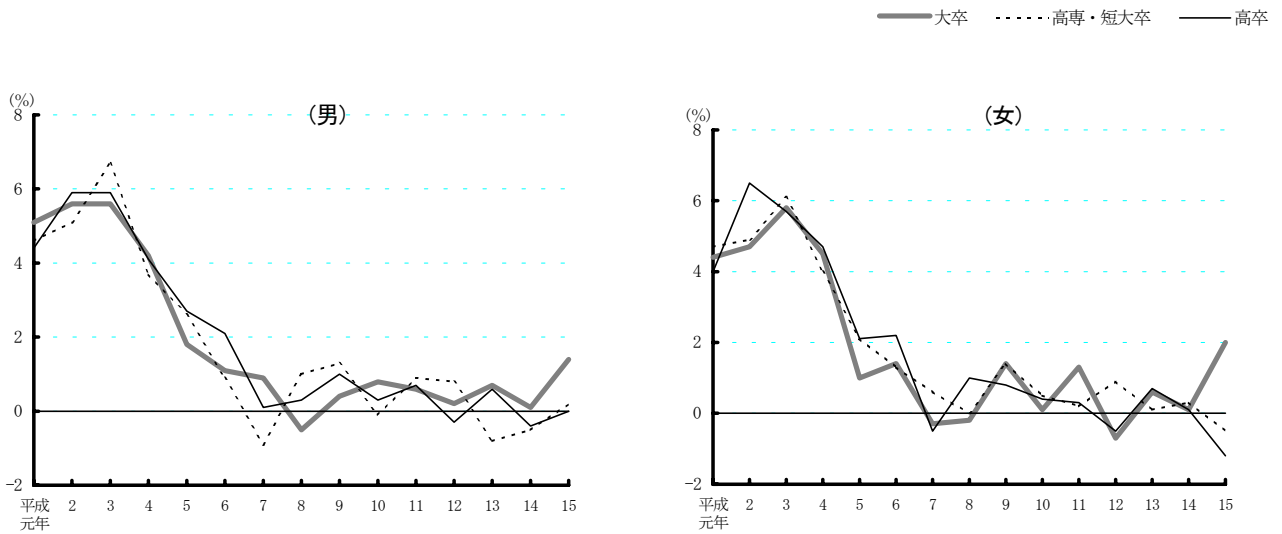
2 ()内は、対前年増減率(%)である。

第21表 性、学歴別初任給額の対前年増減率の推移(産業計、企業規模計)

(単位:%)

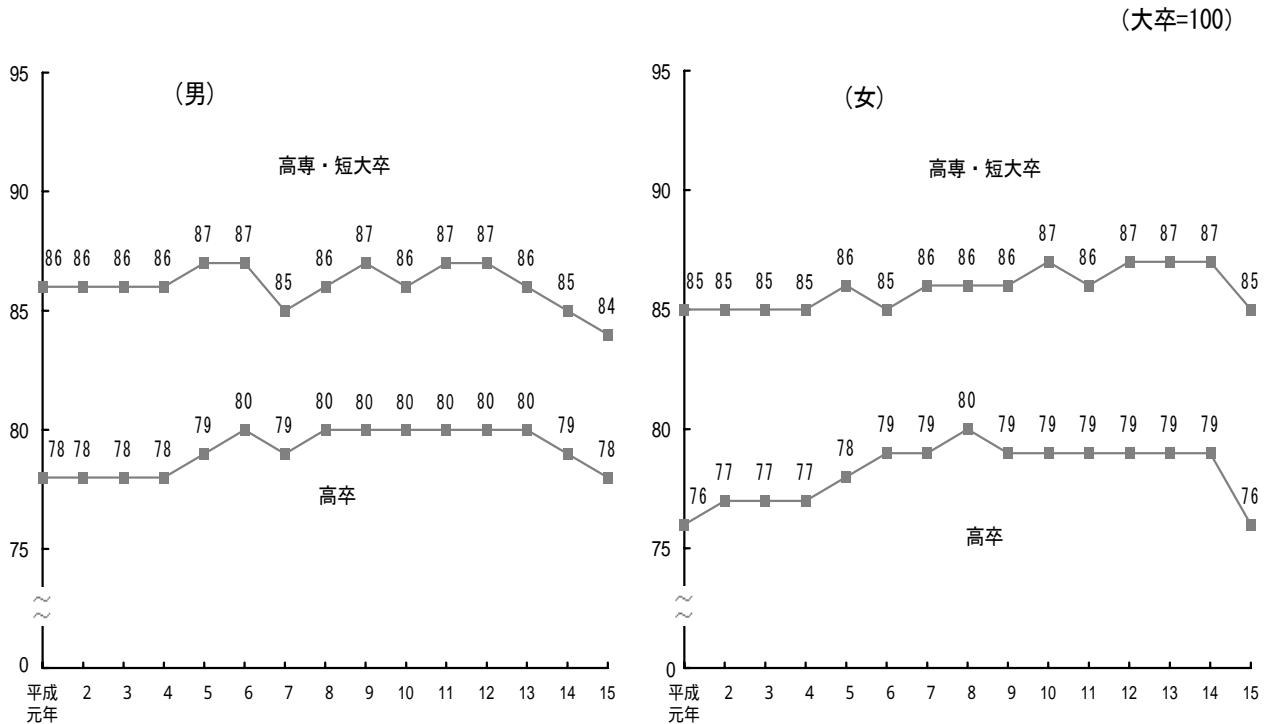
性、学歴	昭和52年	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	男																											
大卒	7.1	4.5	3.8	4.6	5.5	5.3	3.9	2.7	3.1	3.2	2.6	3.3	5.1	5.6	5.6	4.2	1.8	1.1	0.9	-0.5	0.4	0.8	0.6	0.2	0.7	0.1	1.4	
高専・短大卒	6.9	5.8	3.0	5.1	5.8	4.4	5.0	2.7	3.0	2.3	1.4	3.1	4.6	5.1	6.7	3.7	2.6	0.9	-0.9	1.0	1.3	-0.1	0.9	0.8	-0.8	-0.5	0.2	
高卒	6.5	4.9	3.1	4.7	6.0	5.1	2.7	2.4	3.1	2.9	2.3	1.9	4.4	5.9	5.9	4.1	2.7	2.1	0.1	0.3	1.0	0.3	0.7	-0.3	0.6	-0.4	0.0	
女																												
大卒	8.8	4.8	3.8	4.8	5.8	3.6	4.2	3.7	3.7	3.7	3.1	4.4	4.4	4.7	5.8	4.5	1.0	1.4	-0.3	-0.2	1.4	0.1	1.3	-0.7	0.6	0.1	2.0	
高専・短大卒	6.9	4.7	2.5	4.7	5.3	4.2	2.6	3.0	3.5	3.0	1.8	2.5	4.7	4.9	6.1	4.0	2.1	1.3	0.6	0.0	1.4	0.5	0.2	0.9	0.1	0.3	-0.5	
高卒	6.8	4.6	3.3	4.3	5.4	4.7	2.6	3.0	3.1	2.2	1.5	3.4	4.0	6.5	5.7	4.7	2.1	2.2	-0.5	1.0	0.8	0.4	0.3	-0.5	0.7	0.1	-1.2	

第12図 性、学歴別初任給額の対前年増減率の推移（産業計、企業規模計）



ロ 初任給の学歴間格差（大卒＝100）を男女別にみると、男は高専・短大卒が84、高卒が78、女は高専・短大卒が85、高卒が76となっており、この1年間で大卒と他の学歴との格差は男女とも拡大している（第13図）。

第13図 性別初任給額の学歴間格差の推移（産業計、企業規模計）



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、男女計は、大卒では中企業（常用労働者100～999人）が20万円台、大企業（同1,000人以上）と小企業（同10～99人）が19万円台と中企業が高くなっている。高専・短大卒では各規模とも16万円台、高卒では各規模とも15万円台となっている。

これを男女別にみると、大卒では、男は大企業と中企業が20万円台、小企業が19万円台、女は大企業と中企業が19万円台、小企業が18万円台、高専・短大卒では、男は大企業が17万円台、中企業と小企業が16万円台、女は各規模とも16万円台、高卒では、男は各規模とも15万円台、女は大企業が15万円台、中企業と小企業は14万円台となっている。

初任給の企業規模間格差（大企業＝100）をみると、男は中企業が98～101、小企業が97～100と、各学歴とも大きな格差がみられない。女は中企業が97～101、小企業が94～99で、高卒の小企業が94と最も格差が大きくなっている。また、大卒では、男女とも中企業が101で、大企業を上回っている（第22表）。

第22表 企業規模、性、学歴別初任給額及び対前年増減率、企業規模間格差の推移（産業計）

性、企業規模			大 卒					高専・短大卒					高 卒				
			平成11年	12	13	14	15	平成11年	12	13	14	15	平成11年	12	13	14	15
初任給額（千円）	男女計	企業規模計	194.2	193.7	195.1	195.1	198.1	164.9	165.9	165.9	166.0	165.3	153.5	153.1	154.0	154.0	152.9
		大企業	194.0	195.2	196.5	197.0	198.5	164.1	165.5	165.5	167.6	166.8	155.3	155.0	156.6	155.6	155.9
		中企業	193.9	195.3	196.1	195.0	200.2	165.7	169.8	166.7	167.6	166.0	153.7	153.4	154.2	153.6	152.2
		小企業	195.0	187.6	188.7	189.2	192.2	164.4	162.8	165.4	163.9	164.1	152.1	151.7	152.3	153.8	152.5
	男	企業規模計	196.6	196.9	198.3	198.5	201.3	170.3	171.6	170.3	169.5	169.8	157.6	157.1	158.1	157.5	157.5
		大企業	197.2	199.0	200.0	201.3	201.5	172.4	173.6	172.4	174.6	173.0	157.3	156.1	158.4	157.8	158.0
		中企業	195.8	196.4	198.4	197.6	203.2	168.3	170.7	168.0	167.9	169.3	157.5	157.4	157.0	157.7	156.4
		小企業	197.5	193.7	192.6	192.7	195.4	172.1	171.9	171.9	168.7	169.0	158.0	157.3	159.2	157.3	158.3
	女	企業規模計	188.7	187.4	188.6	188.8	192.5	162.2	163.6	163.8	164.3	163.5	148.3	147.6	148.7	148.8	147.0
		大企業	186.8	187.1	188.7	189.4	192.3	161.0	163.3	162.9	164.4	164.2	152.0	153.3	153.1	151.5	152.0
		中企業	189.5	192.8	191.1	189.9	194.9	164.1	169.2	165.9	167.4	164.4	149.7	148.9	151.0	148.3	147.9
		小企業	190.7	178.7	183.4	184.0	187.3	161.2	159.4	162.4	161.9	162.6	143.8	143.1	143.4	148.5	143.3
対前年増減率（%）	男女計	企業規模計	0.8	-0.3	0.7	0.0	1.5	0.6	0.6	0.0	0.1	-0.4	0.6	-0.3	0.6	0.0	-0.7
		大企業	0.8	0.6	0.7	0.3	0.8	0.1	0.9	0.0	1.3	-0.5	0.4	-0.2	1.0	-0.6	0.2
		中企業	0.2	0.7	0.4	-0.6	2.7	0.4	2.5	-1.8	0.5	-1.0	0.9	-0.2	0.5	-0.4	-0.9
		小企業	2.1	-3.8	0.6	0.3	1.6	1.0	-1.0	1.6	-0.9	0.1	0.5	-0.3	0.4	1.0	-0.8
	男	企業規模計	0.6	0.2	0.7	0.1	1.4	0.9	0.8	-0.8	-0.5	0.2	0.7	-0.3	0.6	-0.4	0.0
		大企業	0.8	0.9	0.5	0.7	0.1	-0.3	0.7	-0.7	1.3	-0.9	0.4	-0.8	1.5	-0.4	0.1
		中企業	-0.1	0.3	1.0	-0.4	2.8	1.1	1.4	-1.6	-0.1	0.8	1.2	-0.1	-0.3	0.4	-0.8
		小企業	2.1	-1.9	-0.6	0.1	1.4	1.5	-0.1	0.0	-1.9	0.2	0.4	-0.4	1.2	-1.2	0.6
	女	企業規模計	1.3	-0.7	0.6	0.1	2.0	0.2	0.9	0.1	0.3	-0.5	0.3	-0.5	0.7	0.1	-1.2
		大企業	1.1	0.2	0.9	0.4	1.5	-0.1	1.4	-0.2	0.9	-0.1	0.5	0.9	-0.1	-1.0	0.3
		中企業	1.0	1.7	-0.9	-0.6	2.6	-0.1	3.1	-2.0	0.9	-1.8	0.6	-0.5	1.4	-1.8	-0.3
		小企業	2.3	-6.3	2.6	0.3	1.8	0.9	-1.1	1.9	-0.3	0.4	-0.3	-0.5	0.2	3.6	-3.5
規模間格差	男女計	中企業	100	100	100	99	101	101	103	101	100	100	99	99	98	99	98
		小企業	101	96	96	96	97	100	98	100	98	98	98	98	97	99	98
	男	中企業	99	99	99	98	101	98	98	97	96	98	100	101	99	100	99
		小企業	100	97	96	96	97	100	99	100	97	98	100	101	101	100	100
女	中企業	101	103	101	100	101	102	104	102	102	100	98	97	99	98	97	
	小企業	102	96	97	97	97	100	98	100	98	99	95	93	94	98	94	

(注) 規模間格差は、大企業の初任給をとっている。

(3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、大卒では、男女計、男女とも卸売・小売業、飲食店がそれぞれ204,100円、205,900円、200,700円と高く、金融・保険業がそれぞれ183,400円、189,200円、177,300円と低くなっている。

高専・短大卒では、男女計は建設業が180,400円と高く、金融・保険業が151,300円と低くなっている。

高卒では、男女計は建設業が160,300円と高く、サービス業が147,900円と低くなっている。男女別には、男は建設業が16万円台、他の産業が15万円台、女は各産業とも14万円台で、産業間格差が小さくなっている（第23表）。

第23表 産業、性、学歴別初任給額及び対前年増減率の推移（企業規模計）

性、産業		大 卒					高専・短大卒					高 卒					
		平成11年	12	13	14	15	平成11年	12	13	14	15	平成11年	12	13	14	15	
初任給額 (千円)	男女計	産業計	194.2	193.7	195.1	195.1	198.1	164.9	165.9	165.9	166.0	165.3	153.5	153.1	154.0	154.0	152.9
		建設業	194.1	193.5	194.1	195.0	196.6	171.7	177.7	172.8	168.7	180.4	163.4	162.6	161.5	163.5	160.3
		製造業	196.4	196.9	198.2	200.0	199.9	166.5	165.6	168.3	169.2	166.6	154.2	153.8	155.0	155.1	154.0
		運輸・通信業	188.6	192.9	190.6	192.6	190.4	165.0	166.3	162.1	162.1	165.4	152.6	158.9	159.9	156.7	153.6
		卸売・小売業、飲食店	194.0	193.7	196.0	194.4	204.1	166.0	166.2	168.4	165.9	161.7	152.7	151.0	153.0	155.5	152.4
		金融・保険業	179.6	181.2	184.0	183.2	183.4	152.3	151.3	152.0	151.9	151.3	139.1	141.8	143.1	141.0	148.2
		サービス業	197.7	195.8	196.6	196.9	197.8	166.0	166.9	165.1	167.3	166.6	148.7	146.0	146.3	146.6	147.9
男	産業計	196.6	196.9	198.3	198.5	201.3	170.3	171.6	170.3	169.5	169.8	157.6	157.1	158.1	157.5	157.5	
	建設業	196.1	196.9	197.4	197.0	199.8	176.9	183.1	177.6	172.0	183.5	165.8	163.8	165.7	164.4	162.7	
	製造業	197.5	198.6	199.8	201.3	201.6	170.5	170.0	171.8	172.7	169.7	157.2	156.9	157.4	157.3	156.7	
	運輸・通信業	190.4	196.1	196.3	198.8	194.2	169.3	171.0	166.5	171.7	170.7	154.5	160.2	161.8	161.8	157.4	
	卸売・小売業、飲食店	195.7	196.3	199.0	197.6	205.9	168.3	169.2	171.2	165.4	165.5	153.5	154.4	155.9	156.5	156.7	
	金融・保険業	184.3	186.3	189.7	187.9	189.2	*182.1	*165.6	*173.3	*184.1	*205.1	*141.3	*145.9	*155.2	*146.2	*152.2	
	サービス業	200.2	198.9	198.9	200.3	200.9	169.8	170.2	166.7	170.7	169.5	154.8	149.0	152.1	151.2	155.6	
女	産業計	188.7	187.4	188.6	188.8	192.5	162.2	163.6	163.8	164.3	163.5	148.3	147.6	148.7	148.8	147.0	
	建設業	181.8	181.7	181.5	183.7	184.5	162.6	165.9	163.9	163.4	176.0	144.5	150.1	140.2	153.9	141.1	
	製造業	192.3	191.1	192.8	195.0	193.5	163.6	161.8	165.1	165.5	162.8	148.6	148.0	149.9	149.9	147.8	
	運輸・通信業	185.1	186.2	181.1	183.1	183.7	161.9	164.4	165.1	158.1	162.0	149.1	156.9	158.0	147.5	147.3	
	卸売・小売業、飲食店	190.3	187.9	189.4	189.0	200.7	163.8	163.9	166.3	166.4	159.4	152.1	148.8	151.2	154.4	149.8	
	金融・保険業	174.1	175.4	177.8	179.0	177.3	151.7	151.1	151.6	151.5	150.3	138.8	141.6	142.3	140.6	147.7	
	サービス業	193.2	191.4	193.0	192.1	193.6	164.8	166.1	164.5	166.3	166.0	145.6	144.3	143.5	143.9	144.1	
対前年増減率 (%)	男女計	産業計	0.8	-0.3	0.7	0.0	1.5	0.6	0.6	0.0	0.1	-0.4	0.6	-0.3	0.6	0.0	-0.7
		建設業	0.2	-0.3	0.3	0.5	0.8	0.6	3.5	-2.8	-2.4	6.9	3.0	-0.5	-0.7	1.2	-2.0
		製造業	0.4	0.3	0.7	0.9	0.0	1.0	-0.5	1.6	0.5	-1.5	0.6	-0.3	0.8	0.1	-0.7
		運輸・通信業	-1.2	2.3	-1.2	1.0	-1.1	2.1	0.8	-0.6	-1.9	2.0	-1.8	4.1	0.6	-2.0	-2.0
		卸売・小売業、飲食店	0.6	-0.2	1.2	-0.8	5.0	0.1	0.1	1.3	-1.5	-2.5	0.5	-1.1	1.3	1.6	-2.0
		金融・保険業	-1.7	0.9	1.5	-0.4	0.1	-0.3	-0.7	0.5	-0.1	-0.4	-1.4	1.9	0.9	-1.5	5.1
		サービス業	2.1	-1.0	0.4	0.2	0.5	1.0	0.5	-1.1	1.3	-0.4	-0.1	-1.8	0.2	0.2	0.9
男	産業計	0.6	0.2	0.7	0.1	1.4	0.9	0.8	-0.8	-0.5	0.2	0.7	-0.3	0.6	-0.4	0.0	
	建設業	-0.3	0.4	0.3	-0.2	1.4	0.8	3.5	-3.0	-3.2	6.7	3.2	-1.2	1.2	-0.8	-1.0	
	製造業	-0.1	0.6	0.6	0.8	0.1	0.8	-0.3	1.1	0.5	-1.7	0.6	-0.2	0.3	-0.1	-0.4	
	運輸・通信業	-1.7	3.0	0.1	1.3	-2.3	5.7	1.0	-2.6	3.1	-0.6	-2.0	3.7	1.0	0.0	-2.7	
	卸売・小売業、飲食店	0.5	0.3	1.4	-0.7	4.2	1.1	0.5	1.2	-3.4	0.1	-0.6	0.6	1.0	0.4	0.1	
	金融・保険業	-1.4	1.1	1.8	-0.9	0.7	
	サービス業	1.7	-0.6	0.0	0.7	0.3	0.6	0.2	-2.1	2.4	-0.7	-0.5	-3.7	2.1	-0.6	2.9	
女	産業計	1.3	-0.7	0.6	0.1	2.0	0.2	0.9	0.1	0.3	-0.5	0.3	-0.5	0.7	0.1	-1.2	
	建設業	-0.4	-0.1	-0.1	1.2	0.4	1.3	2.0	-1.2	-0.3	7.7	-3.7	3.9	-6.6	9.8	-8.3	
	製造業	1.9	-0.6	0.9	1.1	-0.8	0.9	-1.1	2.0	0.2	-1.6	0.0	-0.4	1.3	0.0	-1.4	
	運輸・通信業	-0.2	0.6	-2.7	1.1	0.3	-0.2	1.5	0.4	-4.2	2.5	-1.6	5.2	0.7	-6.6	-0.1	
	卸売・小売業、飲食店	1.1	-1.3	0.8	-0.2	6.2	-1.1	0.1	1.5	0.1	-4.2	1.2	-2.2	1.6	2.1	-3.0	
	金融・保険業	-1.5	0.7	1.4	0.7	-0.9	-0.5	-0.4	0.3	-0.1	-0.8	-1.4	2.0	0.5	-1.2	5.0	
	サービス業	2.9	-0.9	0.8	-0.5	0.8	1.1	0.8	-1.0	1.1	-0.2	0.9	-0.9	-0.6	0.3	0.1	

(注) 1 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業、電気・ガス・熱供給・水道業及び不動産業を含む。

2 「*」は、新規学卒採用者が少ないため、利用に際し注意を要する。よって、対前年増減率の算出をしていない。

(4) 初任給の分布

初任給の分布を男女別にみると、大卒では、男は19～20万円台に51.4%と集中し、女は17万円台に20.4%、20万円台に23.1%と二つの階級に山がみられる。

高専・短大卒では、男は16～17万円台で51.6%、女は15～16万円台で49.7%、高卒では、男は15～16万円台で57.0%、女は14～15万円台で55.5%となっている。

全体的にみると、男より女のほうがやや散らばりが大きい(第24表)。

第24表 性、学歴、初任給額階級別新規学卒採用者数割合(産業計、企業規模計)

初任給額階級	男 女 計			男			女		
	大 卒	高専・短大卒	高 卒	大 卒	高専・短大卒	高 卒	大 卒	高専・短大卒	高 卒
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
千円	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 109.9			0.4			0.1			0.9
110.0～119.9			1.1			0.4			2.1
120.0～129.9		2.7	5.7		2.1	2.9		2.9	9.4
130.0～139.9		4.1	9.6		2.4	6.8		4.8	13.2
140.0～149.9	1.3	10.0	20.7	0.7	6.7	14.8	2.5	11.4	28.5
150.0～159.9	1.9	22.9	29.7	1.2	13.7	31.8	3.3	26.6	27.0
160.0～169.9	4.1	23.2	20.4	2.6	23.5	25.2	6.8	23.1	14.3
170.0～179.9	13.5	18.3	7.4	9.7	28.1	10.9	20.4	14.3	2.8
180.0～189.9	12.1	10.2	2.5	11.8	12.6	3.9	12.7	9.2	0.6
190.0～199.9	19.2	3.4	2.4	20.6	5.4	3.3	16.8	2.6	1.1
200.0～209.9	28.1	2.8		30.8	4.0		23.1	2.3	
210.0～219.9	7.8	0.8		8.6	0.6		6.2	0.8	
220.0～229.9	5.7	1.8		7.0	1.0		3.3	2.1	
230.0～239.9	1.2			1.5			0.7		
240.0～249.9	1.9			2.3			1.2		
250.0～259.9	1.0			0.9			1.0		
260.0～	2.3			2.3			2.2		
平均額(千円)	198.1	165.3	152.9	201.3	169.8	157.5	192.5	163.5	147.0
第1・十分位数(千円)	172.0	143.8	132.3	175.0	148.7	139.7	165.2	142.4	126.9
中位数(千円)	198.7	164.5	154.0	200.5	170.5	157.4	192.2	161.5	147.3
第9・十分位数(千円)	223.6	188.5	171.9	225.8	191.3	174.9	215.6	187.0	165.1
十分位分散係数	0.13	0.14	0.13	0.13	0.12	0.11	0.13	0.14	0.13

(注) 1 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、全新規学卒採用者を初任給額の低い者から高い者へと一列に並べて、全新規学卒採用者の所定の何等分目かに位置する者の値である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 十等分し、低い方から最初の節の者の賃金
- 中位数 …… 二等分した節の者の賃金
- 第9・十分位数 …… 十等分し、高い方から最初の節の者の賃金

2 十分位分散係数とは、次の算式により計算された数値をいう。その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

